

田中光顕伯爵をささえた女性たち



田中光顕は、幕末土佐に生れ、昭和まで生きた長寿の人物であった。勤王討幕に奔走し、明治維新後、岩倉使節団で米欧を見聞し、陸軍会計（陸軍少将）で力を発揮し、11年間、宮内大臣として明治天皇に仕えた。退任後は幕末の志士たちの顕彰に余生を捧げた。

その間、3人の妻と1人の妖婦と1人の内縁者が田中伯に寄り添っている。

女性たちがどのように田中を支えていたのかを比較することで、それぞれの個性や生きた時代について理解を深める

田中伯の横に座っている夫人は誰？

撮影:明治43年11月(大高輝雄氏所蔵)

◆基調講演

『田中光顕伯爵の女性観』

講師 古谿荘に親しむ会
会長 森 佑司

- 14:00 開会 主催者あいさつ
- 14:05 基調講演(40分)
休憩(15分)
- 15:00 対談(80分)
- 16:20 質疑応答(10分)
- 16:30 閉会

◆対談

◇木屋江戸資料館 館長 渡邊和子(わたなべ まさこ)



蒲原宿で要職を務めていた渡邊家が所有する静岡市指定文化財の三階建ての土蔵には共に3000点を超える古文書などが保存されている。これらの貴重な歴史資料などを調査、研究、保存管理し積極的に一般公開するとともに地域の女性や子供たちに歴史文化の継承をはかっている。

著書 『木屋江戸日記』 平成13年

◇古谿荘に親しむ会 会長 森佑司(もり ゆうじ)



静岡市生まれ 名古屋工業大学建築学科卒
建築設計事務所を経て旧富士川町役場勤務
「富士川楽座」の企画、建設、運営に携わる
富士市と合併後、市街地整備課長、住宅政策課長を
経て定年退職 日本建築学会会員 一級建築士
「にぎわい文化と地域ビジネス」共著

6月18日(土)

14:00~

(受付13:30)

- 場所 蒲原生涯学習交流館 1階 ホール
(静岡市清水区蒲原新田1-21-1 tel 054-385-4331)
- 参加費 入場無料
- 人数 事前申込先着150人に限定
- 参加者 入場時の手洗い、検温、マスク着用
(新型コロナウイルス感染対策 37.5℃以上の方は不可)

- ◇ 申込先 旧五十嵐歯科医院 TEL&FAX 054-385-2023
- ◇ 申込方法 電話またはFAX申込: 氏名・住所・電話番号
- ◇ 問合せ NPO 旧五十嵐邸を考える会 代表 片瀬信江まで